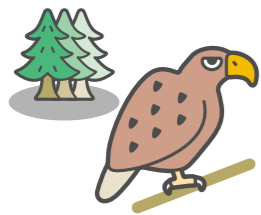




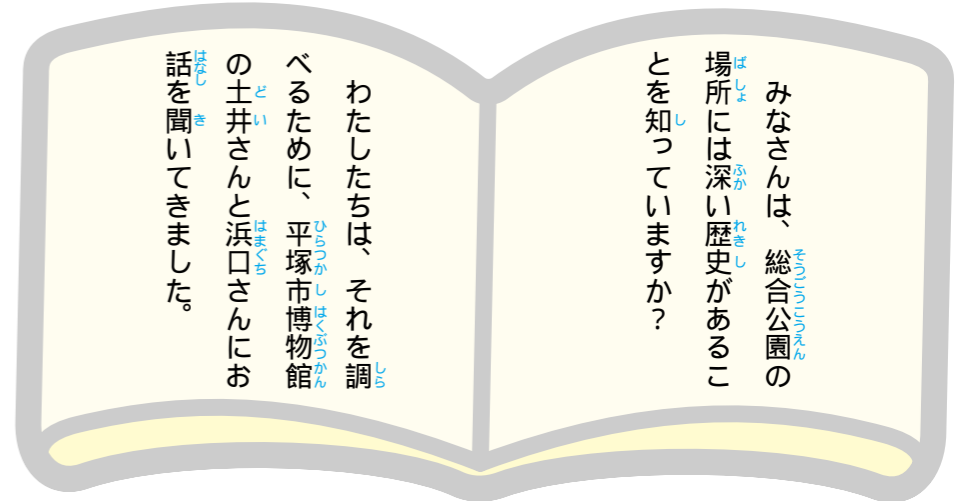
中原御宮記(部分) 1839年(天保10年)長谷川雪堤 画  
徳川家康が鷹狩りの時に宿泊した中原御殿の跡地に建てられた東照宮の絵



こうして守られた御殿は、一五九六年から一六六六年の間使われていました。「中原御殿」の建物自体は、家康の死後、一六五七年に取り壊されてしまいました。その後、後世に伝えていくためにお宮を建てて松の木を植えて保存されてきました。そして、江戸から明治に時代が移り、「中原御殿」と「御林」の土地は明治政府のものになりました。

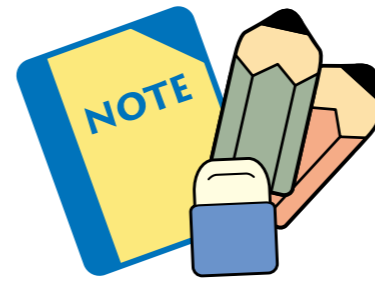
くくするだけではなく、「中原御殿」を見えにくくして守る役目もあるのです。総合公園もこの「御林」の一部でした。

# 総合公園が できるまで



みなさんは、総合公園の場所には深い歴史があることを知っていますか？

わたしたちは、それを調べるために、平塚市博物館の土井さんと浜口さんにお話を聞いてきました。



## 家康が作った「御林」

豆記者：小林優子  
島本季依

中原地区には今でも「御殿」という地名があります。これは、江戸時代のはじめ、今の中原小学校の場所に「中原御殿」という徳川家康のための旅館があったからです。「中原



中原小学校にある「中原御殿」の碑



昔の巻物を見せてもらいました

「御殿」は、家康が趣味である「鷹狩り」をする時に、ここに泊まっていた。鷹狩りは戦の訓練にもなりました。また、家康は、鷹狩りをしている時、農家の人たちなどに会うと聞き込みをして情報収集をしていました。

このような家康が利用している重要な「中原御殿」が攻められたらたいへんです。そこでできたのが「御林」です。この「御林」は、攻めに

## 鷹狩り場はどこ？

豆記者：河原崎美喜  
今仁理紗  
青木恭平  
樽井伸幸

わたしたちは、最初に「海軍火薬廠」のことを聞いた時、どんな所か全く想像もつきませんでした。海軍火薬廠は一九〇五年(明治三十八年)、今の総合公園の場所に外国の会社の協力を得て、「日本爆発物製造会社」をつくったのが始まりです。そして、一九一九年(大正八年)



昔の写真もいっぱいありました





いろいろな話を聞きました。

る人しか中に入れなかったそうです。それは、入った人が実を取ってしまったら、どれだけ実がなっていたか分からなくなってしまっからです。落ちた実を拾ってもいけなかったそうです。

一九七八年（昭和五十二年）に農林省果樹試験場は、茨城県に移転しました。平塚にあった果樹の中で特

に大事な木は、そこに移され、現在も研究に生かされているそうです。そして、一九八二年（昭和五十七年）に市制五十周年の記念事業の一つとして、果樹試験場の跡地に総合公園の整備を始めました。そして、一九九一年（平成三年）三月に総合体育館ができて、三〇・三ヘクターの全体が完成しました。

今では、みんなが自由に校を見に行ったり、緑化まつりがあったり、いろいろなスポーツができたりする楽しい場所になりました。それも徳川家康が「中原御殿」を建て、「御林」として江戸幕府が管理をして、その後、海軍火薬廠や農林省果樹試験場など、国の土地として残っていたから、あの広い総合公園をつくることのできたのです。

わたしたちは、この総合公園の自然を大事にして、ずっと残していこうと思いをしました。

平塚大空襲後の総合公園付近



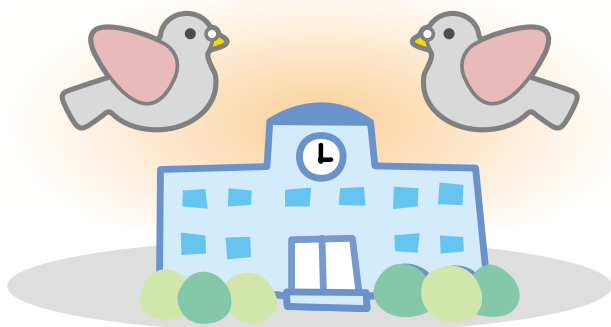
日本海軍がその会社を買って海軍火薬廠となりました。海軍火薬廠では、主に軍艦の大砲の火薬を作っていました。また、「無煙火薬」の開発や研究もしていました。それまでの火薬は黒い煙が出ますが、この無煙火薬は白い煙で、空の雲にまぎれて相手に見つかりにくいそうです。

では、どうして海軍火薬廠が今の総合公園の場所にできたのでしょうか？それは、第一に、鉄道です。火薬の原料や作った火薬を運ぶのに便利だったからです。第二に、川が近くにあり、地下水があることです。火薬を作るにはたくさんの水が必要だったのです。第三は、海軍の基地に近いからです。基地は横須賀にありました。そして、平塚には、江戸時代「御林」だった国が持つ広い土地があったからです。

一九四五年（昭和二十年）七月十六日、平塚市は海軍火薬廠があった



空から見た総合公園



ためにアメリカのB29によって一時間四十分集中攻撃を受けて、しょうい弾が千二百トンも落とされました。十七日の朝、平塚の町には、ほとんどの建物が残っていなかったそうです。

この話を聞いて、みんなが遊んでいる総合公園が、昔は戦争の道具を作っている工場だったと知って驚きました。二度とこのような工場を作ってはいけないと思いました。

農林省の試験場は、一九四九年（昭和二十四年）に海軍火薬廠の跡地にでき、後に「果樹試験場」となりました。ここでは、栗・柿・桃・梨・ぶどうなどの品種改良や、「害虫に強く、味も甘い、そしてたくさん取れるようにするにはどうすれば良いか」「どんな土で育てるのが良いか」「木が病気にかからないようにするにはどうすれば良いか」など、いろいろなことを研究していました。ここには、たくさんの研究室があり、三十人以上の専門の先生がいたそうです。

この試験場には、そこで働いてい

豆記者… 木村真奈  
荻野華代  
熊澤悠記





# レスキュー隊の

## 訓練は？

豆記者：青木恭平



レスキュー隊ってカッコいい!!



ワーストごい高さだー

ぼくは、日ごろ、レスキュー隊がどんな訓練をしているか知りたくて田村にある消防訓練所へ取材に行きました。

取材の時は、二階や三階から動けなくなった人を助ける訓練や高いビルの屋上に、はしご車のはしごを着ける訓練をしていました。救助は、その人の様子を見て、必要な道具を救助工作車から取り出して助けるのです。救助工作車には、約百種類の道具が積んであります。訓練は、声

を出して確認して、正確に行われていました。何回も繰り返し訓練することによって、実際の救助の時にすばやく確実に救助できるようにな



いってきまーす!!



るのだそうです。ぼくは、レスキュー隊の人たちがこんなに毎日訓練しているから救助できるんだと思いました。

訓練が終わってからレスキュー隊の人が、ぼくを平塚で一番高いはしご車のはしごに乗せてくれました。最高で四十七メートル伸びるそうですが、四十メートルの高さまで上りました。ぼくは、ワクワクしたけど上がって行く時は少し怖かったです。天気の良い日は、江の島まで見えるそうです。この日は曇っていて見えませんが、下を見たら車がミニカーのようでした。ぼくが通っている横内小学校も見えました。

# 地震が起きても大丈夫?

豆記者：今仁理紗



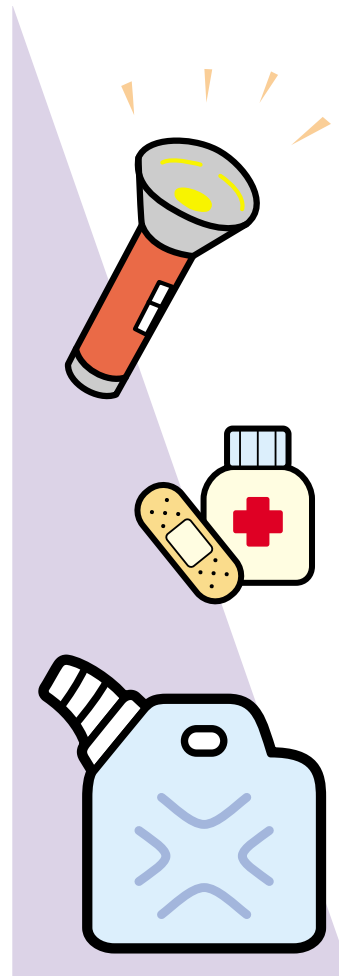
消防本部の防災課の人に取材

わたしは、いつ地震が起きるか、そして大地震が起きた時、平塚市はどんな対策や備えをしているのか関心を持ち、平塚市消防本部の人に話を聞きました。

消防本部の地下には、地震を察知する機械があって、通信指令室の地震専用のコンピューターに記録され、そのデータを地震のメカニズムなどを調べている研究所に送っています。地震には周期があり、現在、その

周期に当たっているものがあります。それは、百年から百五十年の周期でマグニチュード八の地震が起きている「東海地震」と七十年周期の「神奈川県西部地震」です。いずれも平塚市では、震度五強から震度六弱で建物到壊約七千棟、死者二十人、四十人、けが人五百人の被害が予想されています。

平塚市では、災害時の対策として水と食糧を備えてあります。水は、百トン貯まる非常用タンクが市内に十一か所、学校のプール、上吉沢の水道局配水池などに一日一人三リットル使うとして平塚市全体で百日分の水が貯めてあります。食糧は、十五年も宇宙食などの長期保存食



を平塚球場などに保管しています。消防署の人が、「日ごろから自分の家庭での防災も必要です」と言っていました。みなさんも水や非常食など、平塚市のものにたよらずに、自分の家でできることを家族で話し合っ



25年も保存できる宇宙食



貯金箱  
ありがとう

やま した しょう がっ こう  
山下小学校

ちよ きん ばこ  
『ありがとう貯金箱』

まめ きしや かわはら さき みよし  
豆記者：河原崎美喜



こうちょうせんせい かんが ちよきんばこ  
これが、校長先生が考えた「ありがとう貯金箱」です

わたしの通っている山下小学校には『ありがとう貯金箱』という貯金箱が昇降口に置いてあります。『ありがとう貯金箱』は、校長先生が、「ありがとう」がもっと増えたい。「ありがとう」がもっと増えたい。「ありがとう」が増えれば自然に嫌なことがなくなる。というアイデアで「ありがとう」と思ったことを手紙に書いて貯金箱に

入れようと提案して作られました。平成十二年度には、二千五百九十九件の「ありがとう手紙」が入っていました。今年は、一学期だけで千六十件入っていました。手紙の内容で一番多かったのは、「友達ありがとう」、「一番目は先生ありがとう」、三番目は「学校ありがとう」でした。校長先生は、手紙を読むのが、とても楽しいそうです。そして、貯金



やましたしょうがっこう めくろこうちょうせんせい  
山下小学校 目黒校長先生

箱の歌も近所の人を作ってくれました。わたしは、もっとも「ありがとう」が増えればいいなと思います。



はこ なか  
箱の中は「ありがとう」でいっぱい!!

まも

わたしたちを守る

おまわりさん



まめ きしや かわはら さき みよし  
豆記者：河原崎美喜

わたしは、八月二日に平塚警察署へ取材に行ってきました。警察には、警務部、生活安全部、地域部、刑事部、交通部、警備部などがあり、わたしたちに一番身近な部は地域部です。交番のおまわりさん

んやパトカーでパトロールしているおまわりさんがそうです。平塚警察署には、約二百六十人の警察官がいます。そのうち、交番のおまわりさんが百三十人ほどで、その百三十人を三つに分けて、交代で二十四時間働きます。平塚市内では、一日に事件が約三十件、交通事故は十件以上起きています。犯罪では、ひったくりや自転車・オートバイの盗難、自動販売機を壊してお金を盗る事件などが多いそうです。

パトカーに乗せてもらったよ

わたしは、こんなにたくさんのおまわりさんが、いろいろな所でわたしたちの安全のために働いてくれているのかと驚きました。そして、わたしたちは、



いろいろな仕事をしているんですね

これらのことに気を付けてくださいと言っていました。事件・事故に合わないように気を付けなければいけないと思いました。最後に、おまわりさんからわたしたち小学生へのお願いを聞きました。交通事故にあわないように注意する  
二 夜一人で外に出ない  
三 友達同士で危ない所へ遊びに行かない